

会 議 録

承認									
会 長	原委員	水谷委員							
7/4	7/5	7/6							
《開催日時・場所》			平成 29 年 6 月 9 日（金曜日）15：00～16：30 岸和田市役所新館 4 階 第二委員会室						
《名 称》 平成 29 年度 第 1 回岸和田市都市計画審議会									
《出席者》（審議会委員出欠状況）									
岡田	尾崎	金子	河合	川崎	素原	小岡	小牧	杉本	須藤
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
仲井	原	堀野	牧	水谷	宮川	安川	山本	吉田	
×	○	○	×	○	×	○	×	×	
（委員 19 名中、13 名出席）									
信貴市長 事務局：幹 事：大井まちづくり推進部長、山田都市計画課長、上東企画課長、日下建設指導課長 書 記：都市計画課：藤井、南、小竹、奥 関係課：まちづくり推進部：清水 市街地整備課：実森、河畑、秦、鎌刈、新谷									
《傍聴者》 5 名									
《概 要》 ■委嘱状交付 ■報告事項（平成 29 年度諮問予定案件） 1. 都市計画道路泉州山手線及び関連都市計画道路の変更について 2. 住宅市街地の開発整備の方針の変更について ■その他 1. 春木駅周辺まちづくり基本構想（案）について 2. 岸和田市まちづくり推進部審議会等の会議及び会議録の公開に関する要領の一部改正について 3. 平成 29 年度年間スケジュール（案）について 4. 次回の都市計画審議会の公開・非公開について									
《内 容》 ■委嘱状交付 信貴市長より、委嘱状を交付。 ■岸和田市審議会等の会議及び会議録の公開に関する条例等について （会 長） ・平成 29 年度第 1 回都市計画審議会の会議録承認者として原委員と水谷委員の 2 名を指名。 ■報告事項（平成 29 年度諮問予定案件） 1. 都市計画道路泉州山手線及び関連都市計画道路の変更について 都市計画道路泉州山手線及び関連都市計画道路の変更について都市計画課より説明。 【質疑の概要】									

- (委員) ・泉州山手線は、和泉市の和泉中央駅まで泉北高速鉄道と並走している道路の延長ということか。
- (関係課) ・その計画幅員を 31m に変更した場合、鉄道延伸の可能性が無くなるということか。
- (関係課) ・鉄道事業は鉄道事業者により施工、運営されるものだが、現段階で事業化の目途は立っていない。
- (委員) ・よって、現在のところ計画幅員 31m の中に鉄道幅員は含まれていない。
- (関係課) ・しかし、市としては泉北高速鉄道延伸に向けて検討に取り組んでおり、道路幅員が 31m であっても鉄道は十分整備可能と考えている。
- (委員) ・31m で整備しても、鉄道の延伸の可能性が無くなるわけではないということか。
- (関係課) ・そういう認識である。
- (会長) ・交通量推計などから、幅員 31m、4 車線になったということだが、幅員の構成等実際のハード整備については大阪府が中心となり決めていくということか。
- (事務局) ・現在、大阪府及び関係市町で調整しているところであり、都市計画で定める事項は、車線数、幅員となっている。幅員の構成等の案については説明会の中で、参考としてお示しする予定。
- (事務局) ・説明会資料については、委員の皆さまにも発信させていただきたいと考えている。
- (委員) ・大阪岸和田南海線について、岸和田市では計画を存続し、貝塚市以南の地域では廃止する方向で検討されているということだが、市としてどういった考えで存続するのか。
- (事務局) ・市の地域ネットワークとして存続していく考えであるが、現時点において事業時期等は未定。
- (事務局) ・ただ、堺市から和泉市までは整備が進められている路線であり、それと接続する本市において大阪和泉泉南線だけでこれからも対応可能なのかどうか等を十分に検討した上で、市域全体のネットワークについて検討することが必要と考えている。
- (委員) ・南北方向の道路は、泉州山手線を含めてかなり充実していると思うが、東西方向の道路についても都市計画を進めるにあたって偏りがないようにされたい。
- (会長) ・地域ネットワークを岸和田市としてしっかり検討されたい。
- (委員) ・交通量推計の結果から、幅員 31m、4 車線となったということだが、これだけを見ると鉄道の計画が無くなったと思われると思う。もう少し詳しく内容について教えていただきたい。
- (事務局) ・現時点で大阪府と調整している中では、広域ネットワークとしての交通容量は 4 車線に対応可能ということである。詳細については、次回の審議会で、幅員構成も含めて説明させていただきたい。
- (会長) ・交通需要推計については、府で実施されていると思われる。
- (委員) ・元々は、高度経済成長期に交通量も右肩上がりであった頃に、当時の基準幅員 65m で（鉄道を含む）計画をした。しかし、時代が変わり人口や免許保有者数が減少している中で交通量を見直したということ。
- (委員) ・交通量等のデータについては、府から事務局に提供し、次回の審議会で話しさせていただくことも可能である。
- (会長) ・事務局の方で調整をお願いする。

2. 住宅市街地の開発整備の方針の変更について

住宅市街地の開発整備の方針の変更について都市計画課より説明。

【質疑の概要】

- (会長) ・今回、丘陵地区における当該方針の面積が変更となるということだが、当初の計画より

土地利用ゾーニングが進み実態に合わせていくということである。工業地域、準工業地域については、中長期的にもこのままの土地利用方針で進める見通しということで良いか。

- (事務局) ・工業地域、準工業地域については、地区計画で戸建住宅や共同住宅等の住宅系の用途の建築を制限しており、住宅供給を行う場所ではないということである。
- (会長) ・将来的に変更等がある場合、一定期間での見直しをしていくといったことで十分対応できると思う。
- (委員) ・今回の変更が行われると、一定期間は変更されないということか。
- (事務局) ・基本的には、大阪府の住生活基本計画が概ね 5 年で見直すと言われており、必要に応じて変更されれば、それに合わせ変更することとなる。
- (委員) ・現在、市ホームページで丘陵地区内の土地活用について、民間事業者から意見聴取されていると思うが、その結果は反映されるのか。
- (事務局) ・意見聴取しているのは、丘陵地区の中で市が保有している約 3ha の土地について、いまある制限の中での有効活用についてである。
- (委員) ・今の制限の中で、こういった活用があるかについて意見を聴取したいという理解でよろしいか。
- (事務局) ・用途地域、地区計画等の制限の中で提案をして頂くということである。
- ・地区計画で従業員の方の寄宿舍なども建築可能としているため、本方針を位置付けるものだが、住宅系以外の用途も視野に入れた中での位置付けである。

■その他

1. 春木駅周辺まちづくり基本構想（案）について

春木駅周辺まちづくり基本構想（案）について市街地整備課より説明。

【質疑の概要】

- (委員) ・ご説明いただいた構想の幹線道路の対側の部分は今回の構想の対象区域外だが、幹線道路沿道への商業、サービス業機能等の誘導をしていくということについても、今後検討して頂きたい。
- (事務局) ・この基本構想ができれば、それを受けて周辺道路の整備状況や地元の皆さまのご意見を踏まえながら、対側の部分についても今後検討していきたい。
- (委員) ・災害時の復旧拠点として活用可能な空間の形成ということで、災害発生時、緊急に必要な各種物資を輸送するための交通、輸送ルートの形成と記載されているが、その考え方を教えていただきたい。
- (関係課) ・現在、磯之上山直線が緊急輸送ルートに位置付けられており、それに合わせた災害時の復旧拠点として活用可能な空間の形成ということでお示ししている。
- (会長) ・ラパークと線路の間に新しく歩行空間を形成するということだが、万が一の場合は緊急車両が入れるような道路として検討等はされているか。
- (関係課) ・こういった利用をしていくかということについて、今後検討していきたいと考えている。

2. 岸和田市まちづくり推進部審議会等の会議及び会議録の公開に関する要領の一部改正について

3. 平成 29 年度年間スケジュール（案）について

岸和田市まちづくり推進部審議会等の会議及び会議録の公開に関する要領の一部改正について及び平成 29 年度年間スケジュール（案）について都市計画課より説明。

【質疑の概要】

質疑なし。

4. 次回都市計画審議会の公開・非公開について

次回開催候補日について、事務局で調整を行い日程を決めることとし、公開について了承を得た。

* 報告予定案件；①都市計画道路泉州山手線及び関連都市計画道路の変更について